

写真 1
NNE 方向 (10 時 45 分頃)

昭和31年11月10日、10時過ぎ**写真1**のような雲をWNW方向に発見しました。典型的な高積雲の中にポツカカリ青空があき、その中に氷晶状に輝く巻雲が見えるのです。斜めに見ているため、ワラジのようにも見えました。見ていた人々には——内側の巻雲は外側の高積雲とほとんど同じ位の高度から次第に下へ抜け出てゆくように（写真1→2）——感じられました。写真2では氷晶が降っ

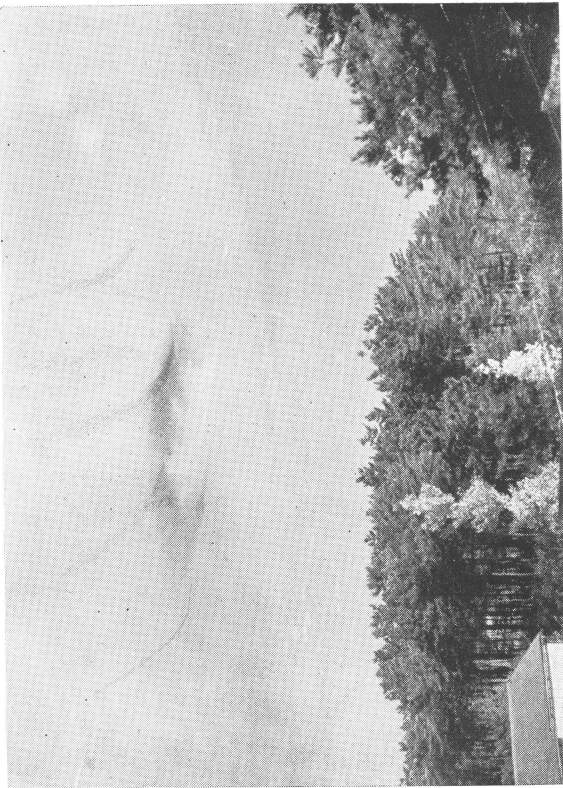


写真 2
ENE 方向 (11 時頃)

高積雲中の巻雲 (写真説明)

ている感じという人もありました。

当日の館野のゾンデ観測によれば、高度は高度4 km の30%から6.5 km の65%まで徐々に増し、8.5 km の40%まで徐々に減っております。同じような雲が「天気」の Vol. 1 No. 5 及び Vol. 2 No. 4 に見られ、「飛行機が通過したために急速に氷晶が吹き、それにつれて（周囲の）水滴の雲が濡れ……」という意見と、「飛行機と結

びつけて考えた人は観ている人の中にはいなかったようです」という意見とが出ています。

館野で見た雲が、人為的な原因でできたのか否かは不明ですが、Vol. 1. No. 5 のような渦巻の状態はなかったようです。

(高層気象台清水正義撮影)

